

まちの財政の概要

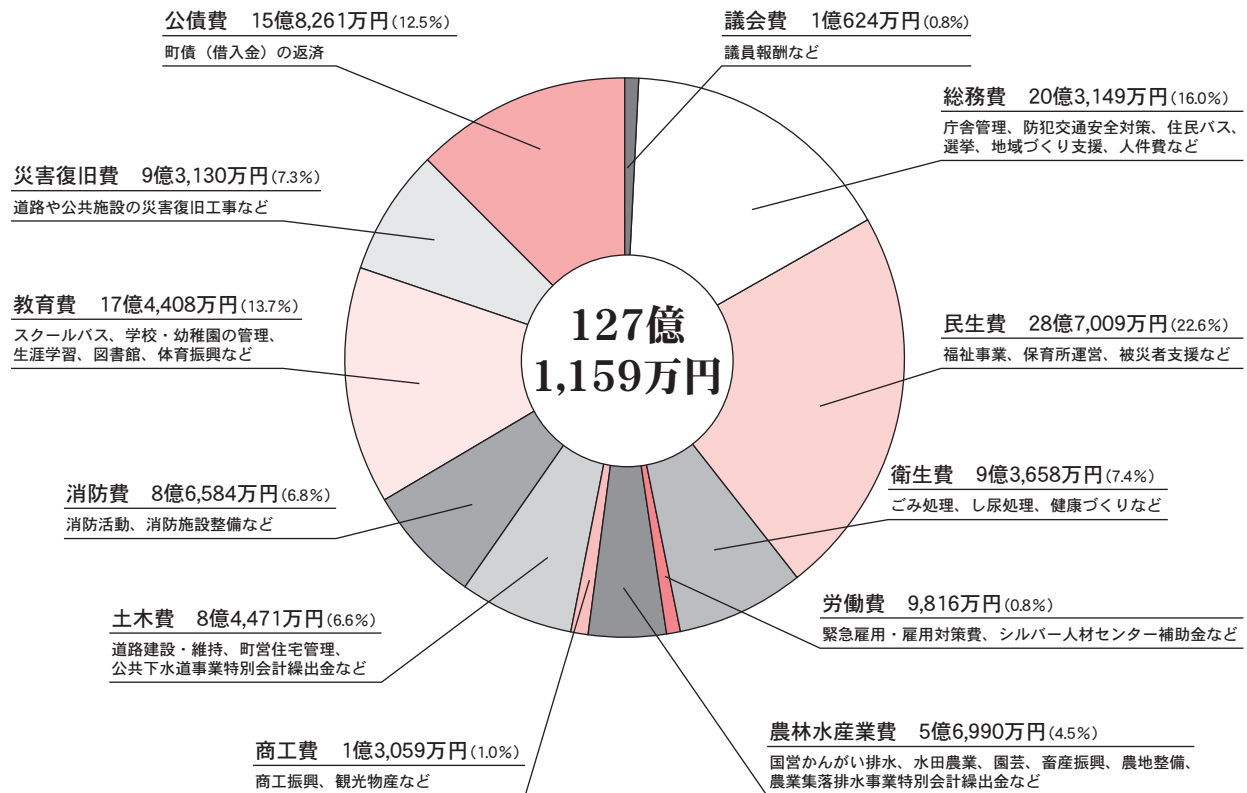
～平成24年度各会計決算から～

平成24年度の一般会計と各種特別会計の決算が、9月の議会定例会において承認されました。

平成24年度の一般会計の決算、特別会計の決算、町の借入金に当たる町債の残高、町の預金に当たる基金の残高、健全化判断比率および資金不足比率、都市計画税の使い道についてお知らせします。

一般会計の決算

歳 出



歳出決算は合併後の最高額に
東日本大震災の復旧・復興を第一に取り組んだ平成24年度の一般会計決算は、歳出で127億1,159万円と合併後の最高額となりました。一方の歳入でも131億2,998万円と前年度に続き二番目に大きい決算額となりました。

復旧・復興事業が全体の約3割を占める
前年度と同様に、震災からの復旧・復興に向けて取り組んだ平成24年度一般会計決算の特徴の一つは、公共施設の復旧工事や震災ごみ処理の経費など、大震災からの復旧・復興に係る事業費が歳出決算で36億5,609万円となり、全体の約3割を占めていることです。

特に、平成23年度に事業を完了することができずに、翌年度の平成24年度へ繰り越した「繰越事業」が多かったことです。事業数で42事業、決算額で27億6,840万円が前年度から平成24年度へ繰り越して実施されました。

こごた幼稚園を整備

また、小牛田、北浦、中埜の3幼稚園を統合した「こごた幼稚園」が、各幼稚園の園舎が東日本大震災で大きな被害を受けたことから、当初の計画を早めて、平成24年12月にトレーニングセンター西隣の町有地に整備され、平成25年1月に開園しました。

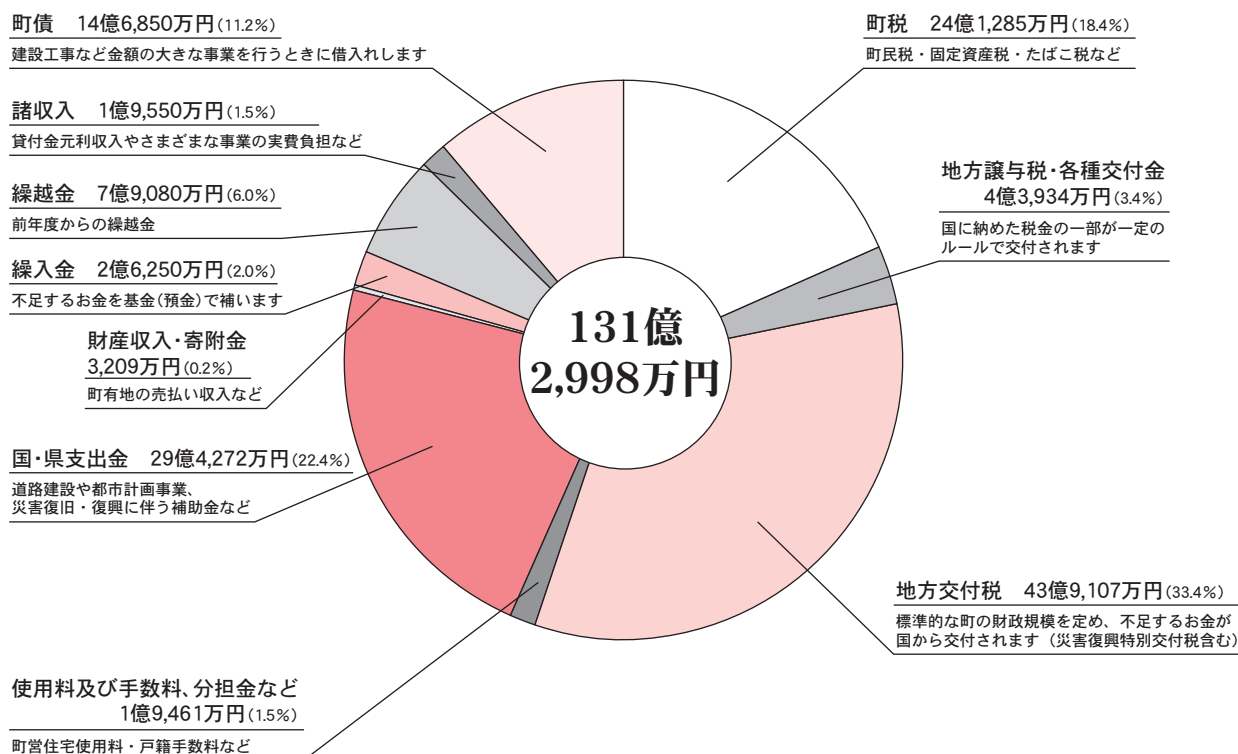
なお、幼稚園整備のうち一部外構工事は平成25年度へ繰り越しされています。



平成25年1月に開園したこごた幼稚園

歳入から、歳出と次年度へ繰り越しすべき財源を差し引いた実質収支額は、1億9,207万円となり、そのうち1億円は後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

歳入



平成24年度決算の実質収支額

歳入131億2,998万円－歳出127億1,159万円－繰越財源2億2,632万円＝1億9,207万円

特別会計の決算

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計	34億 360万円	32億 735万円
後期高齢者医療特別会計	2億5, 105万円	2億4, 920万円
介護保険特別会計	20億6, 523万円	20億1, 586万円
公共下水道事業特別会計	7億8, 756万円	7億4, 662万円
農業集落排水事業特別会計	4億7, 943万円	4億6, 791万円

※特別会計は、特定の事業を行う場合などにおいて、経理を他の会計と区別する必要があるとき、法律や条例に基づいて設置される会計です。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険が歳出で増え、各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で7・6%、後期高齢者医療特別会計で10・6%、介護保険特別会計で8・0%と、医療、福祉に関連する特別会計でそれぞれ歳出が増えました。

◇水道事業会計

【収益的収支】 収入額 6億3,026万円（消費税等抜き6億158万円）
 支出額 6億6,266万円（消費税等抜き6億4,112万円）
 差引額 消費税等抜きで3,954万円の純損失

【資本的収支】 収入額 1億5,324万円
 支出額 3億173万円
 差引額 1億4,849万円の不足

差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

◇病院事業会計

【収益的収支】 収入額 6億8,576万円（消費税等抜き6億8,318万円）
 支出額 6億8,688万円（消費税等抜き6億8,462万円）
 差引額 消費税等抜きで144万円の純損失

累積欠損金の額は、3億9,227万円となりました。

【資本的収支】 収入額 6,459万円
 支出額 9,501万円
 差引額 3,042万円の不足

差引不足額については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

町債の借入額・償還額・年度末残高

区 分	平成23年度末残高	平成24年度借入額	平成24年度償還額	平成24年度末残高
一 般 会 計	139億4,216万円	14億6,850万円	13億7,238万円	140億3,828万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	40億9,728万円	1億8,100万円	2億 616万円	40億7,212万円
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	31億2,129万円	4,060万円	1億7,962万円	29億8,227万円
水 道 事 業 会 計	40億1,237万円	8,500万円	1億3,630万円	39億6,107万円
病 院 事 業 会 計	8億1,023万円	1,900万円	7,519万円	7億5,404万円
計	259億8,333万円	17億9,410万円	19億6,965万円	258億 778万円

一般会計の平成24年度末の町債残高が、平成23年度末の町債残高に比べて9,612万円の増額となりました。平成23年度から平成24年度に繰り越した緊急防災・減災事業債等の借り入れがその要因となっています。

基金の増減

区 分	平成23年度末現在高	平成24年度末現在高	増 減
一般会計 財政調整基金	9億4,614万円	13億4,159万円	3億9,545万円増
一般会計 減 債 基 金	2億7,159万円	2億8,659万円	1,500万円増
一般会計 その他目的基金	17億2,028万円	24億7,896万円	7億5,868万円増
国民健康保険特別会計 財 政 調 整 基 金	3億6,437万円	4億3,450万円	7,013万円増
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	1億8,544万円	9,675万円	8,869万円減
計	34億8,782万円	46億3,839万円	11億5,057万円増

介護保険特別会計の介護給付費準備基金は減額となりましたが、一般会計と国民健康保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で11億5,057万円の増額となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて健全化のための計画策定や行財政上の措置が講ぜられることを目的に制定されたものです。この法律の規定により、美里町の平成24年度の決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の算定結果についてお知らせします。

1 健全化判断比率

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
実 質 赤 字 比 率	－	－	－	－	－
連結実質赤字比率	－	－	－	－	－
実 質 公 債 費 比 率	17.1%	17.1%	15.9%	15.2%	14.8%
将 来 負 担 比 率	147.9%	126.0%	125.6%	89.3%	82.9%

◇実 質 赤 字 比 率：文字どおりに一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。本町の一般会計は過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇連結実質赤字比率：公営企業会計を含む町の全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇実 質 公 債 費 比 率：公債費等の町がその年度に返済すべき金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります。(25%超で黄信号、35%超で赤信号)

◇将 来 負 担 比 率：町が将来にわたって抱える負担すべき金額（町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額）が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります。(350%超で赤信号)

2 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金の不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計および病院事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

都市計画税の使い道（平成24年度都市計画税 9,284万円）

町では、都市計画税を徴収しています。これは公園や街路、下水道など、都市計画に関連する事業に使用する目的税で、平成24年度は9,284万円が徴収され、充当の対象事業費は2億1,844万円でした。不足分は一般財源から支出されています。

	事業費 (A)	補助・起債等 (B)	都市計画税充当対象事業費 (A)－(B)
公 共 下 水 道 の 建 設	4億2,933万円	2億5,525万円	1億7,408万円
これまでの都市計画事業起債償還	4,436万円		4,436万円
計	4億7,369万円	2億5,525万円	2億1,844万円

平成24年度は西館地区や本小牛田地区などで公共下水道の建設工事が行われ、その工事費の一部に都市計画税が充当されました。また、これまでに実施してきた都市計画事業で借り入れた起債（借入金）の償還（返済）にも充当されました。